

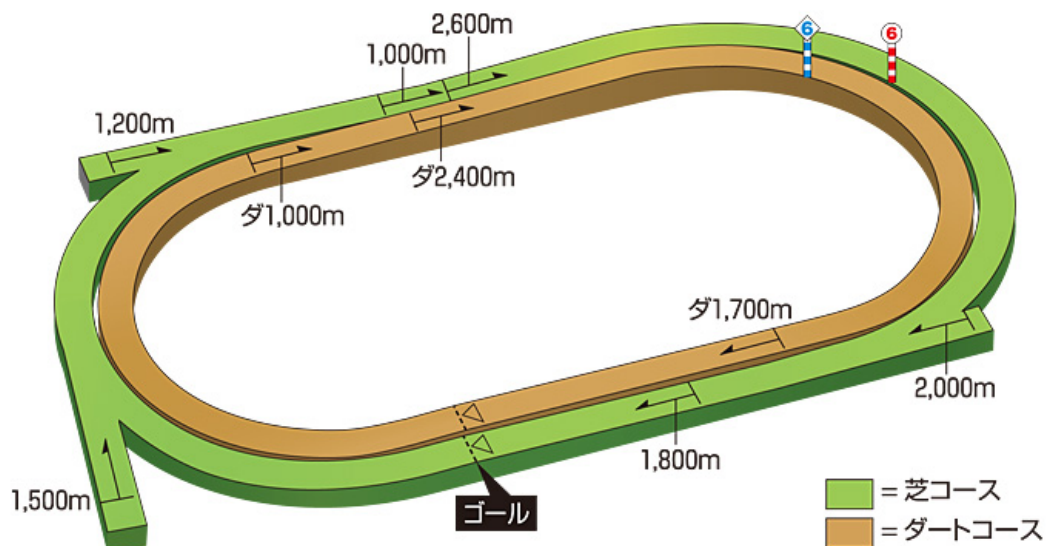


「札幌競馬場徹底攻略ガイド」

presented by KAZ@競馬はビジネスである



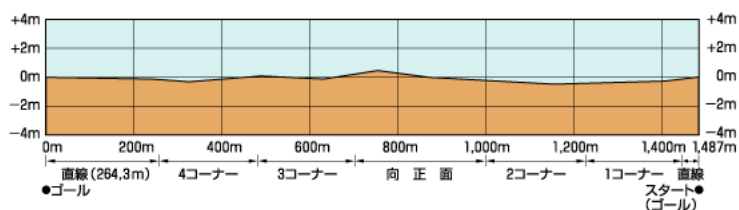
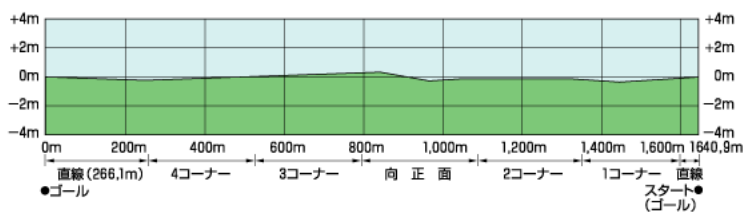
～札幌競馬場の特徴～



北海道の競馬開催を函館競馬場と並んで支える2枚看板の一つ。夏時期は北海道滞在の馬も多いため、前半に開催される函館競馬場との違いをしっかりと考えるのが重要。函館競馬場はもうイメージ通りの小回りコースで内枠先行の立ち回り勝負になりやすいが、札幌競馬場は一般ファンが考えているよりも小回りコースではない。

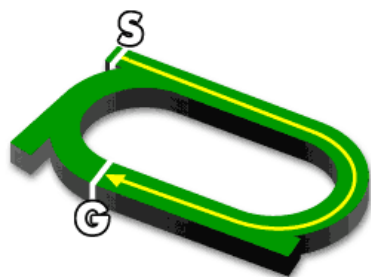
確かに直線部分が短いという点では小回りコースなのだが、コーナーが非常に緩くて全体的に大きな円状の形をしているのが特徴。コーナー半径が大きいのでコーナー部分から勢いをつけて差し込みやすいですし、何より芝ダートともに勝負所で非常に捲りが決まりやすい。

中央場所とは違って洋芝でタフな馬場という特徴はあるが、函館競馬場よりは大きくて差しや捲りが決まりやすいイメージで考えておきたい。函館競馬場よりも力のある馬が力をスムーズに発揮しやすいので、人気馬が走りやすい競馬場ということも覚えておきたいですね。



札幌芝1200m

意外に逃げ先行は函館芝1200mよりも有利



函館競馬場と同じく洋芝で行われる芝のスプリント戦。やはり洋芝を使うということで全体時計や上がり時計は他場に比べて掛かっており、純粋なスピードタイプよりも少しスタミナやタフ馬場適性があるようなスプリンターの好走が目立っている。

小倉芝1200mあたりだととにかく非サンデーサイレンス系のスピードタイプの血統の活躍が目立つが、札幌芝1200mはそこまで極端にスピードが問われないので父サンデーサイレンス系や中長距離適性の高い血統でも対応可能。純粋なスプリント血統というよりはマイルぐらいを走る血統がちょうどよく走っている感じはします。

函館競馬場に比べるとコーナー半径が大きくて差が決まりやすいイメージがあるコースですが、この札幌芝1200mに関しては案外そういうわけでもなさそう。

脚質上り	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
平地・逃げ	14- 14- 9- 34/ 71	19.7%	39.4%	52.1%	221	144
平地・先行	38- 25- 36-156/255	14.9%	24.7%	38.8%	158	144
平地・中団	17- 27- 21-285/350	4.9%	12.6%	18.6%	52	66
平地・後方	3- 4- 6-277/290	1.0%	2.4%	4.5%	7	19
平地・マク	0- 0- 0- 0/ 0					

※札幌芝1200mの脚質別成績(2020年1月~)

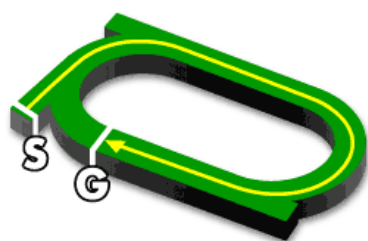
ご覧の通りで逃げ先行馬の成績は非常に優秀ですし、この成績は函館競馬場よりも圧倒的に上。一般的なイメージ以上に前有利というのは覚えておきつつ、開催後半になれば外伸び馬場になるのでそこら辺は臨機応変に対応したい。

<まとめ>

- 洋芝で行われるため純粋なスピードタイプよりも少しスタミナあるタイプの方がいい
- コテコテなスピード血統出なくてもマイラー血統ぐらいがちょうど良く走る
- 意外に逃げ先行馬が有利な条件で、函館競馬場よりも圧倒的に前有利

札幌芝1500m

コースレイアウトの関係から圧倒的に内枠有利な舞台



1コーナー部分の引き込み線からスタートする特殊舞台。スタートしてすぐにコーナーがあるコースレイアウトは中山芝1600mにそっくりで、その中山芝1600m同様に内枠有利の傾向が顕著。

枠番	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値	単適回値
1枠	4- 4- 4-33/45	8.9%	17.8%	26.7%	48	64	84.9
2枠	5- 4- 2-34/45	11.1%	20.0%	24.4%	170	92	91.0
3枠	7- 9- 8-46/70	10.0%	22.9%	34.3%	46	145	101.8
4枠	3- 5- 6-58/72	4.2%	11.1%	19.4%	17	51	43.5
5枠	6- 7- 6-56/75	8.0%	17.3%	25.3%	60	72	66.3
6枠	8-10- 6-56/80	10.0%	22.5%	30.0%	194	139	99.0
7枠	8- 3- 4-66/81	9.9%	13.6%	18.5%	52	45	97.2
8枠	5- 2- 9-68/84	6.0%	8.3%	19.0%	42	46	74.2

※札幌芝1500mの枠順別成績(2020年1月～)

こうして見ても7枠と8枠の成績は微妙。基本的に好走率は内枠の方が高いですが、近年の玄人化したファンの影響で内枠は露骨に買われるので期待値的にはそこまで高くはなっていません。

脚質上り	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
平地・逃げ	15- 4- 4- 23/ 46	32.6%	41.3%	50.0%	581	218
平地・先行	22- 22- 20- 80/144	15.3%	30.6%	44.4%	143	121
平地・中団	3- 10- 15-166/194	1.5%	6.7%	14.4%	13	90
平地・後方	1- 6- 2-123/132	0.8%	5.3%	6.8%	14	23
平地・マク	1- 0- 1- 3/ 5	20.0%	20.0%	40.0%	136	104

※札幌芝1500mの脚質別成績(2022年1月～)

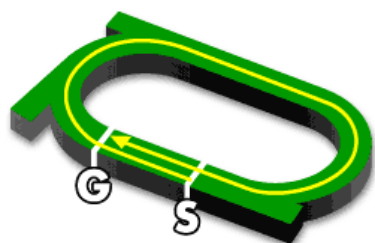
以前は脚質的にはそこまでの偏りがなかったですが、ここ2年ほどは逃げ先行馬の成績が良くなっています。

<まとめ>

- コースレイアウトから内枠有利が当然の舞台
- ここ2年は逃げ先行馬の成績が良くなっている

札幌芝1800m

1コーナーまでの距離が短く1枠有利だが、捲りは決まりやすい舞台



スタートしてすぐに1コーナーを迎えるコースレイアウト。コーナー半径が大きくて差しがそれなりに決まる舞台ではあるが、このコースレイアウトとなればインでロスなく立ち回れる馬が有利。スタート直後にコーナーがあることでスローペースにもなりやすいですし、インをロスなく立ち回れる馬は有利になります。

枠番	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
1枠	12- 6- 3-29/50	24.0%	36.0%	42.0%	549	134
2枠	3- 4- 8-34/49	6.1%	14.3%	30.6%	20	53
3枠	7- 3- 8-44/62	11.3%	16.1%	29.0%	288	107
4枠	10- 4- 4-51/69	14.5%	20.3%	26.1%	58	63
5枠	2- 7- 7-54/70	2.9%	12.9%	22.9%	21	42
6枠	6- 9- 6-52/73	8.2%	20.5%	28.8%	48	58
7枠	5- 8- 4-56/73	6.8%	17.8%	23.3%	41	59
8枠	5- 9-10-54/78	6.4%	17.9%	30.8%	19	64

※札幌芝1800mの枠順別成績(2020年1月~)

こうして見ても1枠の馬の複勝率と回収率が凄いいことになっており、常に1枠が穴を開ける可能性を探るべきコースでしょう。

脚質上り	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
平地・逃げ	7- 5- 6- 32/ 50	14.0%	24.0%	36.0%	46	60
平地・先行	30- 29- 26- 88/173	17.3%	34.1%	49.1%	200	114
平地・中団	8- 7- 13-128/156	5.1%	9.6%	17.9%	133	58
平地・後方	1- 5- 5-123/134	0.7%	4.5%	8.2%	6	27
平地・マク	4- 4- 0- 3/ 11	36.4%	72.7%	72.7%	106	117
3F 1位	25- 14- 5- 11/ 55	45.5%	70.9%	80.0%	219	175
3F 2位	9- 21- 9- 20/ 59	15.3%	50.8%	66.1%	94	120
3F 3位	6- 6- 15- 20/ 47	12.8%	25.5%	57.4%	120	115
3F ~5位	5- 4- 13- 72/ 94	5.3%	9.6%	23.4%	90	65
3F 6位~	5- 5- 8-250/268	1.9%	3.7%	6.7%	105	32

※札幌芝1800mの脚質別成績(2020年1月~)

基本的には逃げ先行が有利な舞台だが、特筆すべきは捲り戦法の複勝率が異様に高い点。前々の馬がそのままの隊列でなだれ込むレースもあるが、途中で一気に動く馬が出ればそういう捲り戦法はハマりやすい舞台だと言えます。

人気	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
1番人気	17- 8- 9- 9/ 43	39.5%	58.1%	79.1%	84	102
2番人気	10- 10- 7- 16/ 43	23.3%	46.5%	62.8%	95	85
3番人気	5- 8- 10- 20/ 43	11.6%	30.2%	53.5%	81	86

※札幌芝1800mの枠順別成績(2022年1月~)

途中で捲りも決まって、実力はしっかり発揮されやすい舞台ということで人気馬の成績が優秀。こうして見ても1番人気の馬はほとんど崩れていません。

騎手データ面で見ると、以前はルメール騎手が圧倒的な成績を誇っていたが、最近は北海道の支配者＝横山武史騎手の成績が圧倒的。吉田隼人騎手も複勝率5割超えで回収率も非常に優秀なのでこのコースを得意にしていると思います。

順位	種牡馬	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
1	ドゥラメンテ	6- 1- 3-11/21	28.6%	33.3%	47.6%	235	92

札幌競馬場全般に言えることですが、コーナー半径が大きいのでわかりかし差しは決まりやすい舞台。昔はディープインパクト産駒が非常に良い成績を誇っていましたが、今はディープインパクト産駒が少なくなった分で同じような王道血統のドゥラメンテ産駒がよく走っています。

順位	母父馬	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
1	ディープインパクト	6- 4- 3-13/26	23.1%	38.5%	50.0%	163	102
2	キングカメハメハ	5- 2- 1-17/25	20.0%	28.0%	32.0%	95	43
3	キングヘイロー	3- 0- 0- 5/ 8	37.5%	37.5%	37.5%	291	65
4	ハーツクライ	2- 2- 4- 8/16	12.5%	25.0%	50.0%	51	107

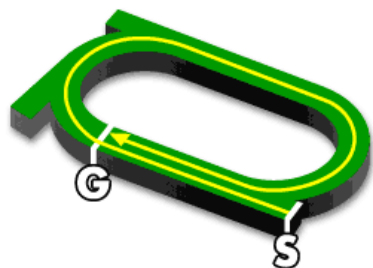
母父ディープインパクトや母父ハーツクライの成績も素晴らしいですね。

<まとめ>

- 1コーナーまでの距離が短いので前半ペースは緩みやすい
- 立ち回り勝負になりやすく1枠が圧倒的に有利
- 基本的には内枠先行が有利だが捲りは決まりやすい舞台
- 実力馬が力を発揮しやすく人気馬の成績が良い
- 吉田隼人騎手や横山武史騎手が期待値高い
- ドゥラメンテ産駒が非常に成績の良い舞台
- 母父ディープや母父ハーツクライの成績も良い

札幌芝2000m

1800mよりも1コーナーまで距離長く、ペース上がって総合力問われやすい



芝1800mから1ハロン距離が伸びて1コーナーまでの距離が伸びる分で内枠のメリットはそこまで。とは言ってもロスなく立ち回れる分で外枠よりは内枠の方が成績は良くなっています。芝1800mよりも1コーナーまでの距離が長くなることでペースは流れやすく、1800mよりも総合力が問われるレースになりやすい。

脚質上り	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
平地・逃げ	11- 5- 1- 38/ 55	20.0%	29.1%	30.9%	170	81
平地・先行	23- 25- 26-122/196	11.7%	24.5%	37.8%	170	126
平地・中団	14- 17- 19-167/217	6.5%	14.3%	23.0%	66	83
平地・後方	2- 1- 7-177/187	1.1%	1.6%	5.3%	8	23
平地・マクリ	4- 4- 0- 7/ 15	26.7%	53.3%	53.3%	191	188

※札幌芝2000mの脚質別&上がり3ハロン別成績(2020年1月~)

JRAの全コースの中でも逃げ、先行、差しのバランスが絶妙に拮抗している印象。ローカル競馬場ながら実力はしっかりと発揮しやすい舞台だと思いますし、だからこそ札幌記念はあれだけメンバーが揃って出世レースにもなっているんでしょう。

札幌芝1800mほどではないですが捲りは決まりやすい舞台で、広いコーナーで早めに仕掛けてきそうな馬がいれば評価してもいいコースです。

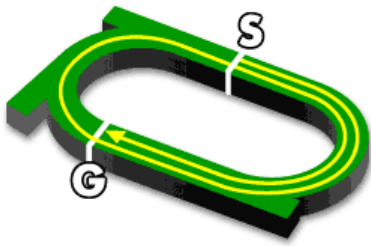
洋芝のタフな舞台で持続力と総合力が問われるという点で以前はモーリス産駒の成績が良かったが、最近はそこまで良くはない。近2年と言えばオルフェーヴル産駒の成績が良くなっています。騎手と言えば新進気鋭の佐々木騎手が非常に良い成績を収めています。

<まとめ>

- 1コーナーまでの距離が長い分でペースが流れて1800mより総合力が問われる
- 逃げ、先行、差しどれもバランス良く走っており、捲りも決まりやすい
- 近2年はオルフェーヴル産駒の相性が良い
- 佐々木騎手の成績が非常に優秀

札幌芝2600m

基本的には内枠有利の立ち回りスタミナ勝負だが、捲り戦法の馬には注意



スタートしてから割とすぐにコーナーがあり隊列はすぐに落ち着きやすい。なかなか洋芝の長距離戦となると無闇に外を回ってスタミナをロスするわけにはいきませんし、基本的には内枠の方が有利。潜在的なスタミナは備えている必要がありますが、それでいてインからロスなく立ち回る馬が有利になりやすい。

脚質上り	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
平地・逃げ	3- 2- 2- 15/ 22	13.6%	22.7%	31.8%	188	90
平地・先行	14- 12- 10- 30/ 66	21.2%	39.4%	54.5%	71	119
平地・中団	2- 4- 8- 76/ 90	2.2%	6.7%	15.6%	9	49
平地・後方	0- 1- 0- 64/ 65	0.0%	1.5%	1.5%	0	9
平地・マクリ	2- 2- 1- 0/ 5	40.0%	80.0%	100.0%	126	416
3F 1位	9- 7- 3- 6/ 25	36.0%	64.0%	76.0%	118	180
3F 2位	4- 5- 2- 9/ 20	20.0%	45.0%	55.0%	81	221
3F 3位	3- 3- 5- 16/ 27	11.1%	22.2%	40.7%	46	121
3F ~5位	4- 4- 7- 20/ 35	11.4%	22.9%	42.9%	118	100
3F 6位~	1- 2- 4-132/139	0.7%	2.2%	5.0%	2	9

※札幌芝2600mの脚質別&上がり3ハロン別成績(2020年1月~)

先団でロスなく立ち回った馬の成績がこう見ても優秀ですが、やはりコーナー半径の大きい札幌競馬場だけに、一揆にまくり切った馬はパーフェクトな戦績。立ち回り勝負にはなりやすいが、捲りタイプの馬の存在は気にかけたいコースです。

順位	種牡馬	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
1	ドゥラメンテ	5- 1- 3- 5/14	35.7%	42.9%	64.3%	242	148

種牡馬別のデータで見るとドゥラメンテ産駒の成績が最近は圧倒的。これほどまでの成績を見るとドゥラメンテ産駒は狙っていきたいですね。

馬体重	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
～399kg	0- 0- 0- 2/ 2	0.0%	0.0%	0.0%	0	0
400～419kg	0- 2- 0- 3/ 5	0.0%	40.0%	40.0%	0	780
420～439kg	3- 0- 0- 21/ 24	12.5%	12.5%	12.5%	86	29
440～459kg	4- 4- 6- 34/ 48	8.3%	16.7%	29.2%	45	72
460～479kg	6- 6- 6- 45/ 63	9.5%	19.0%	28.6%	42	67
480～499kg	3- 6- 4- 43/ 56	5.4%	16.1%	23.2%	108	71
500～519kg	2- 0- 1- 28/ 31	6.5%	6.5%	9.7%	25	14
520～539kg	0- 0- 1- 4/ 5	0.0%	0.0%	20.0%	0	22
540～	0- 0- 0- 2/ 2	0.0%	0.0%	0.0%	0	0

※札幌芝2600mの馬体重別成績(2022年1月～)

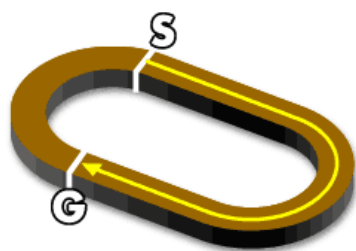
函館芝2600mも大型馬の成績がイマイチでしたが、札幌芝2600mも同じような傾向。500キロを超える馬は相性が良くありません。

<まとめ>

- 基本的には内枠有利で立ち回り勝負濃厚も捲りタイプの馬の存在は警戒
- ドゥラメンテ産駒が凄まじい成績
- 500キロ超えの馬の成績は微妙

札幌ダート1000m

揉まれずの先行策叶う外枠有利だが、函館よりは逃げ馬が捕まる



ダート1000mは日本では3会場でしか行われていないが、これだけ短い距離なので基本的には逃げ先行有利。そして揉まれずに先行できるかが重要になるので外枠有利の傾向も顕著。

枠番	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
1枠	5- 2- 5-34/46	10.9%	15.2%	26.1%	81	84
2枠	1- 0- 5-40/46	2.2%	2.2%	13.0%	8	43
3枠	1- 4- 4-37/46	2.2%	10.9%	19.6%	3	50
4枠	3- 6- 2-35/46	6.5%	19.6%	23.9%	145	75
5枠	8-12- 4-59/83	9.6%	24.1%	28.9%	41	91
6枠	5- 4- 8-70/87	5.7%	10.3%	19.5%	38	53
7枠	12- 8-11-57/88	13.6%	22.7%	35.2%	90	80
8枠	11-10- 7-60/88	12.5%	23.9%	31.8%	201	140

※札幌ダート1000mの枠順別成績(2020年1月～)

こうして見ても7枠と8枠の成績が非常に優秀で、やはりこの条件は外枠から揉まれずに先行できる馬が有利ということなんだろう。

脚質上り	着別度数	勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値
平地・逃げ	11- 5- 6- 24/ 46	23.9%	34.8%	47.8%	171	176
平地・先行	26- 27- 25- 94/172	15.1%	30.8%	45.3%	155	137
平地・中団	8- 10- 13-132/163	4.9%	11.0%	19.0%	47	58
平地・後方	1- 4- 2-141/148	0.7%	3.4%	4.7%	7	13
平地・マク	0- 0- 0- 1/ 1	0.0%	0.0%	0.0%	0	0

※札幌ダート1000mの脚質別&上がり3ハロン別成績(2020年1月～)

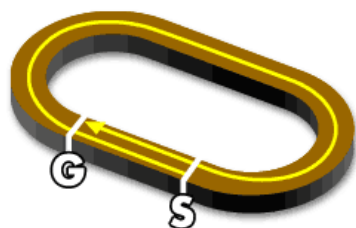
とはいえ函館ダート1000mに比べると逃げ馬の成績はだいぶ落ちる。コースが広くなる分、逃げた馬よりもその直後につけられた馬の方がレースがしやすいのかもしれない。

<まとめ>

- ダート1000mは基本的に外枠有利
- 前有利な条件ではあるが函館に比べると逃げ馬の成績は落ちる

札幌ダート1700m

小回りダート1700mの中では逃げ馬不利で最も捲りが効きやすい



ダート1700mはローカル競馬場に4つあるが、細かいディテールを抜きにすれば札幌競馬場以外はだいたい同じと考えて良さそう。札幌ダート1700mだけは少し傾向が異なるのでその点だけ注意してください。

脚質上り	着別度数			勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値	
平地・逃げ	20-	10-	8-	94/ 132	15.2%	22.7%	28.8%	145	72
平地・先行	77-	66-	49-	192/ 384	20.1%	37.2%	50.0%	168	145
平地・中団	13-	31-	49-	469/ 562	2.3%	7.8%	16.5%	20	67
平地・後方	0-	0-	7-	384/ 391	0.0%	0.0%	1.8%	0	6
平地・マ外	7-	10-	4-	13/ 34	20.6%	50.0%	61.8%	170	150

※札幌ダート1700mの脚質別&上がり3ハロン別成績(2020年1月~)

他場のダート1700mでは逃げ馬の複勝率が50%近くになるのですが、この札幌ダート1700mだけは複勝率3割を切っていてかなり低め。その分の複勝率が上がっているのは捲り戦法の部分で、この条件は捲り戦法の馬の複勝率が6割超えになります。コーナー半径が大きいために逃げ馬は後続の馬にマークされやすく、後方勢の捲りが効きやすいのでプレッシャーを受けて失速しやすいのでしょう。函館ダート1700mで逃げて勝ってきた馬の札幌コース替わりはちょっと怪しんで見たいところです。

枠番	着別度数			勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値	
1枠	7-	4-	10-	78/ 99	7.1%	11.1%	21.2%	35	62
2枠	2-	7-	7-	84/100	2.0%	9.0%	16.0%	13	85
3枠	7-	17-	11-	140/175	4.0%	13.7%	20.0%	74	92
4枠	18-	6-	16-	145/185	9.7%	13.0%	21.6%	71	62
5枠	13-	14-	12-	152/191	6.8%	14.1%	20.4%	68	77
6枠	20-	19-	15-	139/193	10.4%	20.2%	28.0%	117	119
7枠	20-	17-	15-	145/197	10.2%	18.8%	26.4%	93	69
8枠	13-	16-	15-	153/197	6.6%	14.7%	22.3%	32	61

※札幌ダート1700mの脚質別&上がり3ハロン別成績(2022年1月~)

特に昨年が顕著だったのですが、この条件は外枠有利の傾向。1-3枠はほとんど勝っていませんし、コーナー半径が大きいので、外からじわっと早めに仕掛けられる馬が有利なのでしょう。

血統面で見るとこの条件はマジスティックウォリアー産駒が非常に優秀な成績でしたが、最近はそこまでもない感じ。直近2年では母父フジキセキの馬がやたらに走っているのは覚えておいてもいいか。

<まとめ>

- 函館、福島、小倉ダート1700mはどれもほぼ同じだが、札幌だけは違う
- コーナー半径が大きい分で逃げ馬がプレッシャーを受けやすく他場より成績が悪い
- コーナー半径が大きいので他場より捲りが効きやすい
- 最近の外枠有利の傾向が顕著になってきている
- 母父フジキセキの馬が最近の良い成績